

平成21(2009)年度全国水生生物調査結果 集計用紙

調査団体名	人と化学をむすぶ会 (三木自然愛好研究会) (県立社高校)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに () をつけて記入して下さい。	
市町村名	三木市		調査参加人数	1+5 人
調査担当者名	渡邊 雄一	連絡先住所	〒	
担当者連絡先	TEL	FAX	E-mail	hitoto.kagaku@rainbow.zaq.jp

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)					
水質階級Ⅰ	1	アミカ				調査河川名	志染川			
	2	ウズムシ	○			調査地点名	吞吐ダム下流(三津田橋下流)			
	3	カワゲラ	○			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ☒ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ☐ Ⅰ ☒ Ⅱ ☐ Ⅲ ☐ Ⅳ ☐ ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ					調査日時 2010年 4 月 6 日 17 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)			
	5	ナガレトビケラ					天 気 ☒ はれ ☐ くもり ☐ 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ					水 温 11.3 ℃(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ				川 幅 約 30.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)				
	8	ヘビトンボ				生物採取場所 ☐ 川の中心 ☒ 上流から見て右岸 ☐ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい				
	9	ヤマトビケラ				水 深 約 40 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい				
水質階級Ⅱ	10	イシマキガイ				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
	11	オオシマトビケラ	●			流れのはやさ ☒ 速い(毎秒60cm以上) ☐ 普通(毎秒30～60cm) ☐ 遅い(毎秒30cm以下)				
	12	カワニナ	○			川底の状態 ☒ 頭大の石が多い ☐ こぶし大の石が多い ☐ 小石と砂 ☐ コンクリート ☐ 砂と泥 ☐ 泥 ☐ コケ ☐ その他				
	13	ゲンジボタル				水のにおい ☒ においは感じられない ☐ においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)				
	14	コオニヤンマ	○			水のにごり ☐ 透明またはきれい ☒ 少しにごっている ☐ 大変にごっている				
	15	コガタシマトビケラ	○							
	16	スジエビ								
	17	ヒラタドロムシ	○							
	18	ヤマトシジミ	○							
水質階級Ⅲ	19	イソコツブムシ								
	20	タイコウチ								
	21	タニシ								
	22	ニホンドロソコエビ								
	23	ヒル								
	24	ミズカマキリ								
	25	ミズムシ	●							
	水質階級Ⅳ	26	アメリカザリガニ							
		27	エラミミズ							
28		サカマキガイ								
29		セスジユスリカ								
30		チョウバエ								
水質階級の判定		水質階級		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
		1. ○印と●印の個数		2	6	1				
		2. ●印の個数			1	1				
3. 合計(1欄+2欄)		2	7	2	0					
この地点の水質階級は					Ⅱ です					

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚 類
アカマダラカゲロウ?	トウヨウモンカゲロウ	ヨシノボリ
コカゲロウ	ユスリカの仲間	
ツツトビケラの仲間		
マダラカゲロウの仲間		
水草類	鳥 類	その他、気づいたこと
	トビ	生物調査の実施日は、2010.03.22 16:00 pH : 8.2 導電率 : 140μ s/cm 硝酸塩 : 14 ppm リン酸態リン : <0.02mg/L 陰イオン界面活性剤 : 0.05ppm 溶存酸素 : 9.3mg/L 透明度 : 82cm COD : 3 mg/L BOD ₅ : 2.5 mg/L 川底に糸状の藻類付着
	ヒバリ	
	ウグイス	
	カワセミ	